

卒業生からのメッセージ

海洋資源環境学部の母体となる海洋科学部海洋環境学科の卒業生より

村松 菜由子さん

2012（平成24）年度 海洋科学部 海洋環境学科卒業
公財）東京動物園協会 葛西臨海水族園 飼育展示課 飼育展示係

海洋生物の奥深さや面白さを多くの人に伝える仕事をしたいと思い、この職業に就きました。海や生物の魅力を伝えられる展示を目指し、生物の飼育や展示水槽の管理を主に行っています。

大学ではイセエビ・ウチワエビ類幼生の成長に関する研究を行いました。どんな結果になるのだろうとワクワクしながら過ごしていました。そんな私の熱意に応じてくれる先生方の指導や環境に恵まれていたと思います。卒業後も東京海洋大学の先生方や同じ業界で働く同級生や先輩後輩と情報交換をしたり、展示や研究の協力をお願いしたりすることもあります。人とのつながりも私の財産となっています。



小型曳網を用いた生物相調査（水族園前）

古川 大さん

2012（平成24）年度 海洋科学部 海洋環境学科卒業
神奈川県水産技術センター 栽培推進部

トラフグやカサゴなどの種苗生産技術開発を担当しています。仕事の内容は簡単に言えば効率的な稚魚の生産方法の研究です。担当する業務は幅広く、稚仔魚の飼育作業のほか、海に潜ってアワビ漁場の状況を調べたり、漁港に水揚げされる魚を調べに行ったりと日々現場を走り回っています。

在学時はエビ幼生の行動を研究しており、そのときに得た実験生物の飼育技術や講義で学んだ海洋生物・環境についての基礎知識、サークルで身に付けたダイビング技術は今の仕事にも大いに役立っています。仕事でも海洋大の学生や卒業生と出会うことが多く、一生ものの知識・技術・仲間が得られる大学です。



近藤 正樹さん

2016（平成28）年度 大学院 海洋科学技術研究科 海洋システム工学専攻修了
国際航業株式会社 技術サービス本部 環境保全部 海洋エンジニアリンググループ

大学での研究が活かせる点、新規事業に取り組む姿勢に魅力を感じ入社しました。現在は技術を身につけるため、海岸・港湾・ダムなどを維持管理するための深淺測量や環境調査を担当しています。業務内容は現場作業から解析、報告書作成まで幅広く行っています。

大学では授業・実習、サークル活動、研究活動を通して、海洋環境・生物の基礎知識、調査機器の取り扱い、論文の作成方法などについて学びました。これらの知識・技術は今の仕事の基礎になっています。

皆さんも海洋に関して幅広く総合的に学べる本学で、成長のチャンスを掴んでください。



深谷 幸広さん

2013（平成25）年度 水産専攻科 修了（海洋科学部 海洋環境学科卒業）
株式会社 グローバル オーシャン ディベロップメント
（日本マントル・クエスト株式会社 出向中）

現在、地球深部探査船「ちきゅう」の航海士として、船舶の航海士業務及び、掘削オペレーション中に必要なDPS（Dynamic Positioning System：自動船位保持システム）のオペレーターをしています。入学当時は海洋生物に興味がありましたが、フィールドでの実習や乗船実習を通して、船上で働くことに魅力を感じ、今の仕事に就きました。

本学の実習や研究で得た「現場で考える力」は、現在の仕事にも生きています。海に関する幅広い分野に触れることができ、フィールドワークも経験できるチャンスが多いことが本学の最大の魅力だと感じています。

